

## 多文化社会実践研究・全国フォーラム（第6回） 社会参加のあり方を問う ―言語・文化の差異を超えて―

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>

### 日時

2012年12月1日(土) 10:00~17:30  
(懇親会 18:00~19:30)

### 場所

東京外国語大学 府中キャンパス  
(西武多摩川線 多磨駅徒歩5分)  
※入場無料(懇親会のみ3,000円)

### プログラム

10:00~11:50	<b>■あいさつ</b> 亀山 郁夫 (東京外国語大学長) 青山 亨 (多言語・多文化教育研究センター長/本学大学院総合国際学研究院教授)
10:20~11:50	<b>■パネルディスカッション I</b> <b>何が社会参加を可能にするのか?</b> パネリスト グエン・ファン・ティ・ホアンハー (多文化まちづくり工房ベトナム語通訳スタッフ) チョウチョウソウ (NHK国際放送アナウンサー) 宮澤 イザベル (医師・東北福祉大学内予防福祉クリニック多文化共生医療相談室) コメンテーター 渡戸 一郎 (明星大学人文学部教授、移民政策学会会長) モデレーター 長谷部 美佳 (本センター特任講師)
14:12~15:10	<b>■研究発表セッション I・II (個人/グループ発表)</b> <b>日本の多言語・多文化化の問題に取り組んでいる研究者および実践者 (自治体、国際交流協会、NPO等の職員等) による発表</b> (発表者・発表内容はセンターHP参照)
16:00~17:30	<b>■パネルディスカッション II</b> <b>多分野の実践から学ぶ―「場づくり」の観点から―</b> パネリスト 可部 州彦 (明治学院大学教養教育センター教員・研究員、公益社団法人難民起業サポートファンド (ESPREE) 経営支援部長) 高橋 政司 (財団法人自治体国際化協会多文化共生部長) 早川 秀樹 (多文化まちづくり工房代表) コメンテーター 小平 達也 (グローバル人材戦略研究所所長、株式会社ジェイエーエス代表取締役社長) モデレーター 内藤 稔 (本センター特任講師)
19:18~30:00	<b>■懇親会 (アゴラ・グローバル1階)</b> ※プログラムの詳細はセンターHPをご覧ください。 内容等若干変更する場合があります。

当日参加された方には、ベトナム出身児童のための漢字教材「1年生配当漢字」「2年生配当漢字」「3年生配当漢字」印刷見本版を差し上げます(お一人様(1団体)各1冊)。

### ■申込方法

本センターHPからお申し込みください(定員300人)。

### ■主催・お問い合わせ

東京外国語大学  
多言語・多文化教育研究センター  
<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>  
(「多言語・多文化教育」で検索)  
TEL:042-330-5441  
FAX:042-330-5448  
E-mail:tc-zenkoku@tufs.ac.jp

## 第277号 自治体国際化フォーラム11月号

平成24年10月15日発行

編集人 藤田 穰

発行所 財団法人自治体国際化協会  
〒102-0083

東京都千代田区麹町1-7

相互半蔵門ビル

Tel. (03) 5213-1722

Fax. (03) 5213-1741

Homepage <http://www.clair.or.jp/>

E-mail [forum@clair.or.jp](mailto:forum@clair.or.jp)

編集協力・印刷 エイト印刷株式会社

本書からの無断複写・転載を禁じます。

## 編集後記

「行楽の秋」ということで、先日高尾山に行ってきました。気楽なハイキング気分が出掛けましたが、登山開始から30分あまりでヨレヨレになってしまい、日頃の運動不足を痛感しました。甘く考えていた罰が当たったのかもしれませんが。「スポーツの秋」「食欲の秋」皆さんはどんな秋を満喫されているでしょう。「読書の秋」のお供には、ぜひ自治体国際化フォーラムもお忘れなく! (A.K)

自治体国際化フォーラム275号(2012年9月)「写真で巡る世界遺産」に掲載した「フランス・シャルトル大聖堂」写真中  
Crédit photo: François Delauney - Scénographie: Xavier de Richemontの記載は誤りです。

謹んで訂正いたしますとともに、読者および関係者の皆さまにご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫びいたします。